



令和5年度 防火防災セミナー

「北海道南西沖地震から30年 津波体験から学ぶ」



 **日時** 令和5年11月8日（水）
14時00分～15時30分（開場13時20分）

第1部 講演会「北海道南西沖地震から30年 津波体験から学ぶ」
第2部 パネルディスカッション

 **場所** 札幌市北区民センター（3階区民ホール）
北区北25条西6丁目1-1

札幌北区防火委員会

講師紹介



奥尻町 地域政策課長
満島 章

奥尻町出身

平成元年 奥尻町役場採用

平成5年7月12日 北海道南西沖地震を経験。

主に観光に関する復興業務に携わる。

平成24年 被災者島民により地震体験や復興について語り継ぐ「奥尻島津波語り部隊」に参加。以後、防災学習として教育旅行の受入れや島内視察等の講演を行う。

令和5年4月から現職にて防災担当課長



北海道南西沖地震から復興した街並み



新川まちづくりセンター長
岡本しのぶ

奥尻町出身

平成元年 札幌に移住

平成3年 山島外科病院採用

平成5年7月12日 救急当番病院で夜勤務時、北海道南西沖地震が発生。被災者家族として奥尻島に渡り、被災状況を目撃し地域活動に携わる。

令和2年 「奥尻応援隊」の代表となり、以後、奥尻島支援と広報活動を行う。

令和4年から現職 ほか北区防火委員会副会長



歳末火の用心パトロールをする岡本さんと町内会の皆様

ちよとどけ 見どころ 聞きどころ

「北海道南西沖地震から30年 津波体験から学ぶ」

1993年（平成5年）7月12日22時17分に発生した北海道南西沖地震、津波や火災に襲われた奥尻島では、多くの人命とともに数多くのものが失われました。

本セミナーでご講演いただく講師は、お二人とも奥尻町出身であり、満島さんは町役場職員、岡本さんは看護師として、30年前のこの地震を経験されました。大きく深い傷を負いながらも、全国の温かい支援により復興した奥尻島から伝えたい教訓とは？

被災者でありながら復興の最先端でご活躍されてきた講師からの生の声は、防火委員として街を守るみなさまの貴重な学びの機会となることでしょう。